



## 平成23年9月7日 6連覇市長報告



「なせば成る」の精神で!

NPO法人八王子市体育協会  
会長 澤本 則男

昨年、色々のことがありました。東日本大震災の地震・津波・原発事故による汚染、ヨーロッパ発の経済危機、国内では政治の不安定、等々です。明るい話では、なんとと言っても女子サッカー「なでしこジャパン」の世界一でしょう。大震災で打ちひしがれた人の心に勇気と感動を与えてくれ、元気をくれた快挙です。ついには言う人も居ますが、ツキも実力のうちです。でもこれは間違いなく「日頃の練習と精進の成果」です。練習はウソをつかないと言いますが、まさにそれに尽きると言えます。最後まで諦めずに頑張ったことも勝利の大きな一因と言えます。

また大震災の影響による節電で、夜間の体育館等の使用が出来ない中で頑張った結果、我が八王子市体育協会は市町村総合体育大会の六年連続総合優勝(六連覇)を達成し、「十二年間に十一回の総合優勝」と言う新記録を作りました。これに満足することなく今年も七連覇を目指して頑張りたいものです。

一月に石森新市長が誕生し、八体協の名誉会長に就任して頂きました。この新名誉会長の下、来年開催の東京多摩国体のプレ大会を今年に実施しなければなりません。八王子市は、国体の実施競技のうち、サッカー(女子)・体操(競技と新体操)・自転車(ロードレース)・軟式野球・ゴルフ・高校野球(硬式)の六競技の開催地です。その他に、デモンストレーション行事として、インディアカ・グラウンドゴルフ・少林拳法・ターゲットボードゴルフ・ネオテニス・ブライインドサッカーの六種目を開催します。来年の国体本番の準備をしながらプレ大会も成功させなければならぬ訳ですから、相当の覚悟が要ります。また再来年は狭間駅前新体育館を完成する段取りになっています。多忙中、協力して立派な体育館にしたいです。原発事故の影響で停電が心配されますが、如何に練習場所・練習時間を確保して行くか大きな課題になります。その中の七連覇達成は、かなり厳しいですが「やれば出来る」じゃなくて「成功するまでやれば成功する」の精神で臨みたいと思います。

南口にサザンスカイトワーが完成して少し賑やかになったのも束の間、駅ビルのそごうデパートが撤退して北口が寂しくなりました。多摩地区で最も高い建物になるサザンスカイトワーで活気を取り戻し、国体で訪れる大勢のお客さんから熱気をもたらして、多摩の中心の市として復活したいものです。都心では東京スカイツリーが完成し、春から公開されます。沢山の人が訪れる東京の新名所になるはずですが、八王子の多くの市民はサザンスカイトワーがそれに負けないようになって欲しいと願っています。また新体育館で大きなスポーツイベントが行われるようになります。大勢の人が来るので活気が生まれます。それと南口の医療療務所跡地利用が八王子中心街の盛衰の鍵となるのは確かです。

今年もオリンピックがあります。八王子市からも馬術競技や柔道でオリンピック選手が誕生することになると思われますが、その方々を含めて、日本が高成績を挙げて被災地復興の追い風になるようにと願っています。なにはともあれ、「なせば成る」の精神で頑張っていきたいです。

寄稿文

八王子市長 石森 孝志



NPO法人八王子市体育協会 会報「げんき」が発刊されます。貴協会におかれましては、日頃から本市のスポーツ振興と競技力の発展・向上にご尽力をいただいております。心から感謝申し上げます。

さて、本年はロンドンオリンピックの開催年です。各国を代表する選手が集い、世界最高峰の技術・体力・競技力を競い合うことで、世界中の人々が同時に熱狂し、夢中になることを思うと、改めてスポーツの持つ力の偉大さに感心させられます。

来年はいよいよ東京多摩国体が開催されますが、本市においても、関係団体の皆様との強い絆で密に連携し、大会の成功に力を注いでいきたいと思っております。この国体を契機として競技者と観客が共に感動を味わうことができ、より多くの方がスポーツを通じて活き活きとした人生を送ることができるよう、そして地域の結びつきが一層強まることを期待しています。

2013 東京国体

ジュニア育成地域推進事業「目指せ国体選手！」

今年で6回目を迎えたジュニア育成地域推進事業、今年度も12団体14事業が実施されました。今年度は東日本大震災の影響で室内競技の団体は会場確保に東奔西走するスタートでした。

Grid of photos showing various sports activities: 卓球, バドミントン, トランポリン, スキー, 乗馬, フェンシング, 陸上, アーチェリー, ボウリング, バレー, 体操, トライアスロン, サッカー, 新体操.

<実施内容一覧> 12団体 14競技

Table with 5 columns: No., 種目, 事業名(競技種目名), 実施回数, 寸評. Lists 14 different sports programs with their respective details and evaluations.

平成 23 年度役員紹介

[敬称略・順不同] 3月31日現在

Table listing board members and staff: 名誉会長 (石森 孝志), 会長 (黒須 隆一), 副会長 (澤本 田光男), 監事 (理事), 常務理事 (植松 日出男), 専務理事 (植松 日出男), 副会長 (林 泰男), 顧問 (立川 富代).





# 東京多摩国体 **スポーツ祭東京2013**

第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会

大会会期 平成25年9月28日(土)～10月14日(月)

**スローガット「東京に多摩に島々に羽ばたけアスリート」**

**【正式・公開競技】**

サッカー(女子)、体操(競技・新体操)、自転車(ロードレース)、軟式野球、ゴルフ、高等学校野球(硬式)

**【デモンストレーションとしてのスポーツ行事】**

インディアカ、グラウンド・ゴルフ、少林寺拳法、ターゲットバードゴルフ、ネオテニス、ブラインドサッカー



ゆりーと

～八王子市開催競技会期【正式・公開競技】 (□部分は競技種別会期。○印は八王子市開催日)～

競技名	種別	会場	平成25年(2013年)													
			9月			10月										
			28(土)	29(日)	30(月)	1(火)	2(水)	3(木)	4(金)	5(土)	6(日)	7(月)	8(火)			
サッカー	女子	八王子上柚木公園陸上競技場			○		○									
体操	競技	東京工科大学体育館					○	○	○	○						
	新体操		少年女子		○	○										
自転車(ロードレース)	成年男子 少年男子	特設ロードレースコース		○												
軟式野球	成年男子	八王子市民球場								○	○			○		
ゴルフ	成年男子	八王子カントリークラブ		○	○	○										
	女子	GMG八王子ゴルフ場		○	○	○										
	少年男子	武蔵野ゴルフクラブ		○	○	○										
高等学校野球(硬式)	少年男子	八王子市民球場		○	○	○	○	○								

～デモンストレーションとしてのスポーツ行事～

種目名	概要	会場	期日
インディアカ	ドイツ発祥のスポーツ。羽根のついたボールを手で打ち合うバレーボールタイプの競技。	八王子市民体育館	平成25年9月1日(日)
グラウンド・ゴルフ	鳥取県泊村教育委員会が中心に考案。専用クラブで専用ボールを打ち、ホールにインするまでの打数を競う。	市庁舎前浅川河川敷広場	平成25年10月5日(土)
少林寺拳法	宗道臣が創始した拳法。教え・技法・教育システムによって人を育てる活動をしている武道。	八王子市民体育館	平成25年9月8日(日)
ターゲットバードゴルフ	埼玉県で考案。羽根の付いたボールをゴルフクラブで打ちネットに入れる競技。	戸吹スポーツ公園	平成25年9月21日(土)
ネオテニス	八王子市体育指導委員協議会で原案を考案。バドミントンコートを利用しラケットでスポンジボールを打ち合う競技。	八王子市民体育館	平成25年9月22日(日)
ブラインドサッカー	80年代からヨーロッパ、南米を中心に広がる。アイマスクを着け全盲状態で鈴入りボールをゴールに入れる競技。	八王子富士森公園クーバー・フットボールパーク	平成25年9月22日(日)

～第68回国民体育大会競技別リハーサル大会八王子市開催競技会期～

競技名	大会名	会場	期日
ゴルフ	第67回国民体育大会関東ブロック大会	武蔵野ゴルフクラブ	平成24年7月12日(木)・13日(金)
体操	第67回国民体育大会関東ブロック大会	東京工科大学体育館	平成24年8月23日(木)～25日(土)
軟式野球	第67回国民体育大会関東ブロック大会	八王子市民球場	平成24年8月25日(土)
自転車(ロードレース)	第47回全国都道府県対抗自転車競技大会	特設ロードレースコース	平成24年9月9日(日)
サッカー	第48回全国社会人サッカー選手権大会	八王子上柚木公園陸上競技場	平成24年10月13日(土)・14日(日)

【問い合わせ】スポーツ祭東京2013 八王子市実行委員会(八王子市教育委員会生涯学習スポーツ部国体推進室)  
 電話 042-620-7440 <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kokutai/>

**国体特集** 来年度に迫る国体、  
**今年はデモンストレーション競技を実施!**

第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会が平成25年9月28日(土)～10月14日(月)に開催される。八王子市では、正式・公開競技が6種目、デモンストレーション競技が6種目実施される。また、本年秋には大会競技別リハーサルも実施される。(※市国体推進室提供)



第64回都民体育大会春季大会開会式  
「東京からスポーツで勇気を」

夏を感じさせるほど暑い日差しが注いだ平成23年5月8日(日)。第64回都民体育大会春季大会開会式が東京体育館(渋谷区)メインアリーナで開催された。都内全域から約1万5千人の選手・役員等が参加する全都的なスポーツ大会。八王子市からは、澤本会長、小山スポーツ振興課長をはじめ、25名の選手団が参加した。

主催者の挨拶では、東日本大震災の発災により、本大会を開催するか論議がなされたが、スポーツは行う側も見る側も勇気の源となることから、各選手団を決勝したと説明があり、各選手団も大きく頷く様子うかがえた。

例年同様、圧巻なのは選手宣誓の場面。都内62の市区町村の旗手が選手代表を囲み、高らかに宣誓が行われる。

各種表彰では、ソフトボール連盟が東京都体育協会より生涯スポーツ功労賞を受賞した。さて、アトラクションは平成25年に開催される第68回国民体育大会ならびに第13回全国障害者スポーツ大会のプレイベント一色となった。マスケットボールや、車いすバスケットボールの競技紹介など、各参加者は東京多摩国体に向け、意識をさらに高め、会場を後にした。本市の主な成績は以下のとおり。

男子の馬術と女子のバスケットボールは優勝。男子のテニス・バドミントン・柔道は3位。男子の卓球・ソフトボールと女子のソフトボールは5位。男子のボウリングは6位。男子の陸上と女子の弓道は8位。その結果、男子は総合成績で7位になった。

平成23年度研修事業  
川嶋伸次氏 講演会

川嶋伸次氏による「監督く挫折と栄光の箱根駅伝」をテーマに、平成24年度2月25日(土)午後7時から八王子市学園都市センターイベンホールにおいて八体協事業の講演会が開催された。八体協の各加盟団体から141名が参加し、講演に耳をかたむけていた。

川嶋氏は、日本体育大学時代に箱根駅伝に4年連続出場し、区間賞をとるなどの活躍をし、同校の躍進に大きく貢献した。卒業後は、旭化成株式会社に入社、陸上部に入部して、各種駅伝大会で活躍し、「ミスター駅伝」の異名を持つ。現在は旭化成株式会社陸上部コーチとして所属している。

2000年3月のびわ湖毎日マラソンで2時間7分4秒の自己ベスト、日本人トップの2位で同年開催のシドニーオリンピック男子マラソン代表となる。翌2001年1月に現役を引退。2002年から東洋大学陸上競技部の監督として、後進の指導にあたる。2009年の箱根駅伝では指導してきた東洋大学が初優勝を果たした。今回は競技選手として、指導者としての経験を持つ川嶋氏の講演の中で、スポーツを通じて学んだ話から、相手を認めること、自分にはあきらめないこと、スポーツができることへの感謝の言葉や気持ちを持つことが必要であることや、大学の選手たちに地元埼玉県の小学生へ指導を経験することで、指導者の立場を高める機会を与えるなど人間性を高める指導をしたことも話された。

スポーツをしている者は勝負にこだわることはもちろんあたりまえであると思う。しかし、川嶋氏の講演を聞いて、それだけの真の価値がはかれないのではないかと考えさせられた。

スポーツを通じて社会に貢献できることは、どのスポーツにも共通したもので、それができるところにスポーツの素晴らしさがあることを再認識した講演会であった。

第65回市民体育大会開会式  
「東京多摩国体への確かな一歩へ」

平成23年9月5日(日)、第65回を迎える市民体育大会開会式を開催した。

会場である市民体育館メインアリーナには1,363名の選手・役員が一堂に会した。その勇姿は、例年ながら「壮観」である。今回、特徴的だったのは参加選手のユニフォーム。カラフルなポロシャツや道衣、はかま姿など、各団体独特の服装が目立っていたが、その中に国体啓発のポロシャツ姿も多く見られた。また、マスケットキャラクターである「ゆりー」とも登場するなど、東京多摩国体がすぐ目の前に来ていることを実感するものであった。

東日本大震災から半年。澤本則男会長の挨拶では、スポーツで元気を発信しようという意気込みと、「節電」体制のもと、施設使用制限による競技力への影響について、熱い思いが話された。

来賓の皆様は、戸吹スポーツ公園の開設や新体育館の建設に向けた進捗、そして大会史上初となる東京都町村総合体育大会の6連覇についてなど、本市の競技力の高さやスポーツ環境の整備について様々な角度からお話をいただいた。

続く選手宣誓は、ゆりーとも特別参加。ソフトボール連盟、菱山千秋選手による力強い宣誓が行われた。その後の体育協会表彰では、長きにわたる協会・団体の活躍にたいにわたる皆さんへの表彰はほじり、上部団体等での特別表彰が行われる。特別表彰の代表受領は乗馬連盟、都民大会における団体優勝3連覇のほ

か、数々の好成績に大きな拍手が送られた。

最後は、加盟団体による演技披露となり、アリーナには畳が敷設される。今回は合気道連盟の皆さんによる演武である。道着姿での入場には会場、雰囲気も引き締まる中、武器取り、演武発表、多人数取りと華麗な演武の披露に、観覧者からは大きな拍手が送られた。

平成24年新年会  
「八王子から元気を発信しよう!」

平成24年1月18日(水)、恒例の平成24年八体協新年会が、八王子エルシーにて203名もの参加者を迎え開催された。

冒頭、澤本会長からは、東日本大震災により市内のスポーツ環境にも大きな影響があったにもかかわらず、市町村総合体育大会での6連覇達成は、本市持ち前の競技力の高さにより実現した。今年はいさらん結を深め「手を携えて国体成功に導くための準備の年」と、挨拶。黒須八王子市長をはじめ、来賓のご祝辞では、昨年のなでしこジャパンの活躍やスポーツ基本法の制定などを契機に、オリンピックイヤーでもある今年には、スポーツを通じてますます元気を生み、そして発信できるように取り組むとともに、都内最大の種目数を誇る多摩国体のプレ大会により「国体の良さ、八王子の素晴らしさ」をPRする大きな一年であり、この潮流を一過性のものとせず、未来につながるために一致団結してまい進しようという強いメッセージをいただくなど、年初にふさわしい活気あふれた式典となった。

この活気は、祝宴にも波及。日頃、各団体の指導に携わる皆さんの熱い語りや談笑は、例年よりも寒さの厳しい外気をも和らげてくれるような、身も心も温まるひと時を演出。今年の船出が快調に進み出したことを実感し、盛会のうちに開きとなった。

平成23年度  
東京都町村体育関係者  
幹部研修会

平成24年2月12日(日)山梨県笛吹市石和町のホテルやまなみで市町村体育関係者の研修会が実施された。八体協から澤本会長・本橋専務理事が出席した。

市町村体協連合会小島会長・連合会理事・各体協幹部及び行政より大勢の参加者があった。都スポーツ振興局スポーツ事業部長板垣一典氏、都スポーツ振興局スポーツ祭東京2013推進部長川合純氏のご挨拶後、研修会の第一部(スポーツ祭東京2013について)スポーツ祭東京推進部企画課 鈴木豊課長より開催準備状況・開催会場・デモンストレーション・スポーツ行事・全国障害者スポーツ大会・広報活動等についての講演があった。

第二部は「東京都のスポーツ振興について」スポーツ事業部調整課 篠裕次課長・スポーツ事業部推進課 筑井賢次課長より平成24年度スポーツ振興局予算・スポーツ振興計画・シニアスポーツ振興事業・都民体育大会、障害者スポーツ大会合同開会式についての講演があった。

「事例発表」では国体の準備状況について、立川市・多摩市・調布市・武蔵村山市の代表者より発表が行われ約4時間の研修会が終了した。



# 第62回 全関東八王子夢街道 駅伝競走大会への協力



スーパースタールプス第62回全関東八王子夢街道駅伝競走大会(大会実行委員会主催、毎日新聞社、社団法人東京陸上競技協会後援、メインスポンサー・スーパースタールプス)が5日に開催された。

過去最多の446チーム(エントリー・446チーム)が参加した。

八体協から約199名が協力して、例年どおり大会を支えた。

今年、東日本大震災による特別招待チームの岩手県から山田中学校の男女が参加。男子男子は優勝、女子は3位に入賞した。男子男子の部(第3部)では創価大学チームが優勝して、中央大学の大会4連覇を阻んだ。高校男子では埼玉栄チームが2連覇、同女子でも埼玉栄高校が優勝し、男女ともに優勝の栄冠を手にした。長野東高校は今回2位で3連覇はならなかった。

## 第六十二回大会記録

### ◆一般男子の部(第1部)

- 1位 東京都中体連平成元年会 (1時間5分32秒)
  - 2位 二本松市駅伝チームA (1時間6分51秒)
  - 3位 城西大アスリートクラブA (1時間7分8秒)
  - 4位 八王子富士森走友会A (1時間7分45秒)
  - 5位 さくちようOB (1時間8分36秒)
  - 6位 八王子富士森走友会B (1時間9分46秒)
- 1区間最高記録
- 1区 山下 堯哉 チノ幡出十修徳門(14分21秒)
  - 2区 武藤 浩哉 二本松市駅伝チームA(19分18秒)
  - 3区 安永 陽 東京都中体連平成元年会(16分33秒)
  - 4区 小山 祐太 さくちようOB(13分15秒)

### ◆大学男子の部(第2部)

- 1位 創価大学D (1時間1分32秒)
- 2位 ハンテホシノ(中大) (1時間1分58秒)
- 3位 法政大学A (1時間2分23秒)
- 4位 法政大学B (1時間2分38秒)
- 5位 創価大学B (1時間2分50秒)
- 6位 中央大学K (1時間2分58秒)

### ◆高校男子の部(第3部)

- 1位 埼玉栄高等学校A (1時間2分56秒)
  - 2位 東京実業高等学校C (1時間3分26秒)
  - 3位 東京実業高等学校A (1時間4分18秒)
  - 4位 埼玉栄高等学校B (1時間4分28秒)
  - 5位 東海大学山形高等学校A (1時間5分17秒)
  - 6位 東海大学山形高等学校B (1時間5分18秒)
- 1区間最高記録
- 1区 越智 文弥 東京実業高等学校C(14分29秒)
  - 2区 我那覇 悠太 東京実業高等学校A(14分29秒)
  - 3区 我那覇和真 東京実業高等学校A(18分36秒)
  - 4区 塩沢 健太 埼玉栄高等学校D(16分9秒)
  - 5区 白吉 凌 埼玉栄高等学校A(12分42秒)

### ◆市内中学男子の部(第4部)

- 1位 山田中学校(特別招待) (49分46秒)
  - 2位 八王子市立第三中学校 (51分2秒)
  - 3位 浅川中学校陸上競技部 (52分35秒)
  - 4位 穎明館中学校 (52分41秒)
  - 5位 八王子市立石川中学校 (52分43秒)
  - 6位 八王子市由井中学校 (53分3秒)
- 1区間最高記録
- 1区 土屋 智博 八王子市立第一中学校(7分53秒)
  - 2区 沼崎 友哉 山田中学校特別招待(8分10秒)
  - 3区 梶山 拓郎 山田中学校特別招待(8分12秒)
  - 4区 佐々木聖和 山田中学校特別招待(12分35秒)
  - 5区 武田 和徳 穎明館中学校(12分7秒)

### ◆一般女子の部(第5部)

- 1位 長野東高校クラブ (50分25秒)
  - 2位 東京農業大学A (52分28秒)
  - 3位 東京農業大学B (53分8秒)
  - 4位 国士館大学A (53分35秒)
  - 5位 東京学芸大学 (54分7秒)
  - 6位 織田 WR C (54分59秒)
- ★赤：大会新記録(現コース：第56、62回大会)

### ◆高校女子の部(第6部)

- 1位 埼玉栄高等学校A (50分13秒)
  - 2位 長野東高校 (50分42秒)
  - 3位 八王子高校A (51分43秒)
  - 4位 都立上水高校A (53分47秒)
  - 5位 埼玉栄高等学校B (53分53秒)
  - 6位 若葉総合高校A (55分10秒)
- 1区間最高記録
- 1区 和田 春香 埼玉栄高等学校A(16分4秒)
  - 2区 満澤 茜 長野東高校(7分57秒)
  - 3区 中山 咲 埼玉栄高等学校A(11分6秒)
  - 4区 佐々木文華 長野東高校(14分22秒)

### ◆市内中学女子の部(第7部)

- 1位 甲ノ原中学校ハスケ部A (0時間57分24秒)
  - 2位 甲ノ原中学校ハスケ部B (0時間59分4秒)
  - 3位 山田中学校特別招待 (0時間59分10秒)
  - 4位 八王子市立第三中学校 (1時間1分36秒)
  - 5位 都立南多摩中等教育学校 (1時間3分56秒)
  - 6位 城山中学校 (1時間4分28秒)
- 1区間最高記録
- 1区 吉田 茉央 甲ノ原中学校ハスケ部A(9分6秒)
  - 2区 村田 梨紗 甲ノ原中学校ハスケ部A(9分40秒)
  - 3区 武藤きさら 甲ノ原中学校ハスケ部A(9分15秒)
  - 4区 野口まりえ 甲ノ原中学校ハスケ部B(14分26秒)
  - 5区 平野 真子 山田中学校特別招待(14分41秒)



## 第45回 東京都市町村総合体育大会開会式

が、7月23日(日)に羽村市生涯学習センターゆとろぎの大ホールにおいて26市3町1村が参加して開催された。

女子種目	男子種目	総合
第一位 東村山市(四〇〇点)	第一位 八王子市(九八・五)	第一位 八王子市(一三三・〇点)
第二位 府中市(三八・五)	第二位 町田市(六七・〇)	第二位 青梅市(一〇〇・五)
第三位 青梅市(三八・〇)	第三位 立川市(六六・五)	第三位 府中市(九四・〇)

※八王子市は五位

澤本則男会長(空手道連盟)「敬称略」以下、鈴木紀幸(ソフトテニス連盟)、松本忠(陸上競技協会)、橋本一雄(剣道連盟)、庄司義和(山岳連盟)、鈴木英雄(水泳連盟)、林泰男(バレーボール連盟)、白田知子(バレーボール連盟)、小笹勝司(バドミントン連盟)、田中定一(体操連盟)、藤川孝予(体操連盟)、高橋健司(少林寺拳法連盟)、植松日出男(ミニテニス協会)、小池平(武術太極拳連盟)、スポーツ振興課から1名の合計15名が参加した。

開会式会場は羽村市の市民会館でおこなわれた。式典では、市旗を先頭に入場行進が始まった。東京都市町村体育協会連合会功労者表彰を、小池平(武術太極拳連盟)が受賞した。

さて、今大会は8月2日(日)の閉会式まで、13競技20種目(陸上男女、卓球男女、ソフトテニス男女、バレーボール男女、バドミントン男女、水泳男女、剣道男女、柔道、空手道、弓道、クレー射撃、ゲートボール、軟式野球)において熱戦が繰りひろげられた。

本市の優勝競技は、男子が陸上競技、柔道競技、バドミントン競技。

女子は剣道競技が優勝して、ポイントを重ねた。その他の各競技とも上位の成績を収めた結果、男子優勝、女子は五位。総合では、6年連続総合優勝を成し遂げた。

ブロック制になつてから通算11回目の優勝。(第1回大会からは通算16回優勝)

結果は、以下のとおりです。



### 連盟だより

結果、年末に八王子八峰登山大会の取りやめを決定した。

山岳連盟は、八峰登山大会という最大の事業を取りやめたが、年間の事業計画に余裕が出来たともいえるのでこれを前向きに考え、新事業の計画も検討している。

既に昨年10月に会員を対象とした「登山の事故防止と対処」の机上講習会。11月には城山(八王子城跡)で実技講習会を実施し、経験者には指導技術を、初心者には、安全確保に役立つ実のある講習会を行った。

市教育委員会と共催で行っている、一般市民を対象とした夏山登山入門(夏山安全登山講習会)も昨年は第43回目であったが、やはり大震災の影響により中止になった。

しかしこの事業は、初心者、中高年未組織登山者の為にも継続し一層の充実を図ることを検討している。

市民体育大会山岳大会はここ数年、市民と会員が半数ずつの参加があり、大型バス3台で実施している。

山岳大会は競技には馴染まないの、登山愛好の市民と山岳連盟会員と一緒に歩き、心身のリフレッシュ計ると共に、初心者や中高年の参加者には安全登山普及の一助となることを目的にしている。



### 八王子ソフトボール連盟

当連盟は昭和38年の秋、八王子野球連盟ソフトボール部より分離創設された。54年には、その八王子野球連盟から、小川清大氏を会長に迎え新たな頁が開かれた。55年には南多摩五市(稲城、多摩、八王子、日野、町田)による持ち回りの親善大会は充足した。それによりソフト専門の審判員(従来は野球と兼任)の数も少しずつ増えるなど、その後の活動の原動力になった。五市親善大会が、現在も継続され今年には33回目を迎えるに至っている。当連盟は平成25年には34回目の大会を主管する事になっている(通算7回目)

平成2年には関係各位のご尽力のおかげで、ソフトボール公認審判員の認定会を開くことが出来て、29名の合格者を得た。その後の大会運営に大きな力と支えになった。

その後、東京都ソフトボール協会八王子支部として上部大会も行える様になり、平成5年〜20年は都一般社会人秋季大会を、更にその間17〜18年は都民大会を、更にその間17〜18年は都社会人大会は50回記念と銘打って、男女同時開催を行った。全日本関東大会、関東レディーズ大会等、当連盟は上部の要請を受け、枚挙にいとまがない位、大きな大会をこなす自信を付けました。春秋に催す支部の大会に於いて上位になった各クラブのチームは支部代表として、都大会、関東大会、全国大会等に出場し常に好成績で女子のオール八王子と男子の上巻ソフトクラブなどは上部大会で優勝もし大会の常連として活躍しています。今年5月12、13、19日に滝ヶ原にて第65回都民大会(男女)を開催します。多くの市民の観戦をお願いします。当連盟加盟のチーム数は5種目30チームで大会を行っています。現在、三代目の中島会長の下、14〜15歳で頑張っている。最大の悩みは高齢化と人数の減少による人手不足が深刻です。何か妙案がないだろうか?今後とも関係各位のご指導ご鞭撻をお願いする次第です。



### 八王子市水泳連盟

八王子市水泳連盟は今年発足64周年を迎えました。皆様方のお陰と深く感謝しております。

水泳連盟は市民水泳大会、市民水泳教室、児童水泳教室、学校開放プール管理



運営等委託事業をコアとして連盟員が全員一丸となり、地域社会の水泳の発展と底辺の拡大のため、日々活動を行なっています。また、対外的にもスポーツ・レク大会、都下水泳大会、都民水泳大会等にも積極的に参加して連盟員のモチベーション、および技術の向上にも努めています。

さらに、連盟独自のものとしては、少年水泳クラブの活動や指導員養成制度の活動、養護学校の水泳教室実施を応援するボランティア活動、着衣泳等を行なっています。

八王子市は55万都市、文化都市と宣伝している反面、体育文化施設については近隣各市に比べて劣っているように感じます。近隣各市、特に町田市・多摩市・相模原市等は立派な屋内競泳プールを持っているが、八王子市にはそれがなく市民水泳大会開催も法政大学さんの立派なプールをお借させていたいただいでの立派なプールです。行政はもっと都市づくりに多面的に取り組んでいただき是非とも所謂自前の室内競泳プールの設置をお願いしたいと思っています。

八王子市水泳連盟は更なる発展を期すため、種種観点から新規指導員の増員に注力していますが、増員が計画どおりに進捗せず苦慮しているのが現状です。皆様方の身近(ご親族・ご友人等)に、活躍の場が十分にあります指導員になって頂ける方がいらつしやれば、是非ご推薦頂きたくお願い申し上げます。具体的には市民水泳大会の役員も一人二役で繰りまわして頂きます。今後ともNPO法人八王子市体育協会を始め、市民お

よび水泳愛好者の温かいご支援とご協力を賜り、益々発展するよう連盟員一同努力して行く覚悟でございますので、いままでは以上の皆様方のご指導をお願い申し上げます。

### 八王子自転車競技連盟



エゴで健康的な乗り物である自転車は、スポーツとして年々人気を呼んでいます。八王子には大垂水峠や和田峠などの長く厳しい上り坂が続く場所があり、脚試しの場として都心や近県からも愛好者が集まるメッカになっています。

また来年の東京国体では、自転車競技のロードレースが、八王子をスタートとして、あきる野、増原を経て奥多摩でゴールするコースで行なわれ、今年はその大会となる都道府県対抗自転車競技ロードレースが開催されます。百数十名の選手が一斉に出走するロードレースでは、スタート直後の壮観なシーンを八王子で見ていただけたと思います。さて、八王子自転車競技連盟では昨年、飯島朋一前会長から、嶋崎幸新会長へとバトンタッチをしました。嶋崎新会長は自転車競技について深い見識を有し、連盟の運営にも長年携わっています。連盟は新会長のもと諸活動を推進して行きたいと考えていますが、最大の問題は市民レベルの大会を行なえる会場の確保です。

昨今の道路状況では、公道での大会開催は不可能であり、長年の念願である滝方原運動場自転車グラウンドの改修も見通しが立っていません。毎年行なう市民体育大会の開催さえ、どうするか思案しています。

このような現状のなか、第64回・第65回大会の市民体育大会では、八王子市役所対岸の河川敷を、役員が時間と

労力をかけて、草を刈り、石を取り除いてコースを造成、クロスカントリー競技の開催にこぎつきました。

クロスカントリーはハードでありながら幅広い層が参加出来る競技で、第65回大会の参加者には小学校低学年からオリリンピックの候補選手までおり、観客も大いに湧いた好評の大会となりました。

しかし、やはりコースの造成にかかると負担はとて大きく、クロスカントリー大会を継続出来るかは大変難しい状況にあり、新たな案も模索をしてみるところですが、何れにしても市民スポーツとして根付いた活動をして行きたいと考えております。

編集後記

天災が異常に多いと感じます。そんな中、毎日のように大地震の話がテレビで放映されるので、大変で大切なこととは思っていても、いさかか食傷気味になります。「おおかみ」を切に願っています。八体協の所属団体に加わって体を鍛えておけば「いざ」と言う時に体がものを言う「いざ」なるかも知れないか?と考えるのは、手前みそでしようか?そんな風に役立つことがないように祈ります。

東京多摩国体を、参加した方々に「行って良かった!」と感得してもらえようようにしたいものです。次号のこの欄では明るい話が出るようにお願いしながら、また一年頑張ってください!」

【連絡先】  
 〒一九三〇八三三  
 八王子市散田町二二七七一  
 TEL〇四二六六八〇一八〇  
 FAX〇四二六六七二七六  
 NPO法人八王子市体育協会  
 http://www.8stakyo.com

